図版17

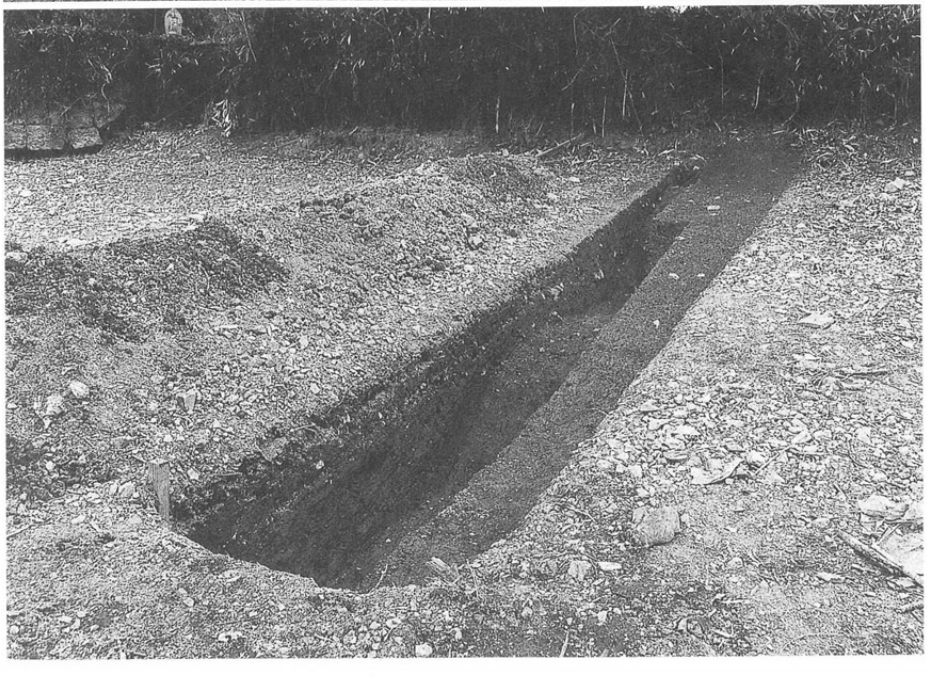
1　トレンチ32
　　中堤断面（東から）

2　トレンチ32
　　中堤断面（北から）

3　トレンチ30
　　中堤断面（北東から）

1　トレンチ36
中堤（西から）

2　トレンチ39
中堤（西から）



3　トレンチ42
中堤（西から）

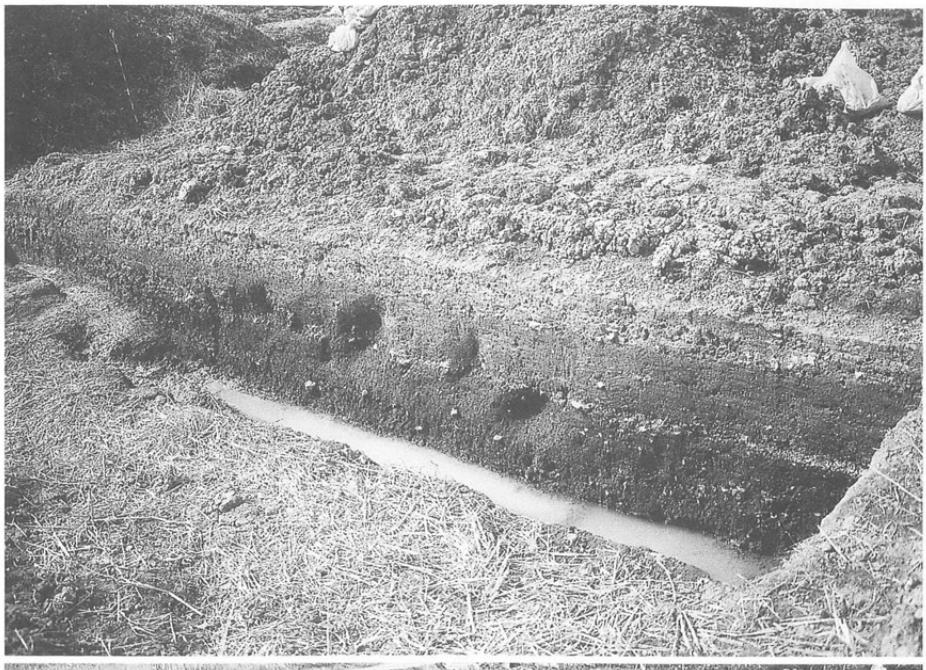
1　和田茶臼山古墳（東から）

2　和田茶臼山古墳（南　両宮山古墳後円部から）

1　和田茶臼山古墳と
両宮山古墳外濠跡
（西から）

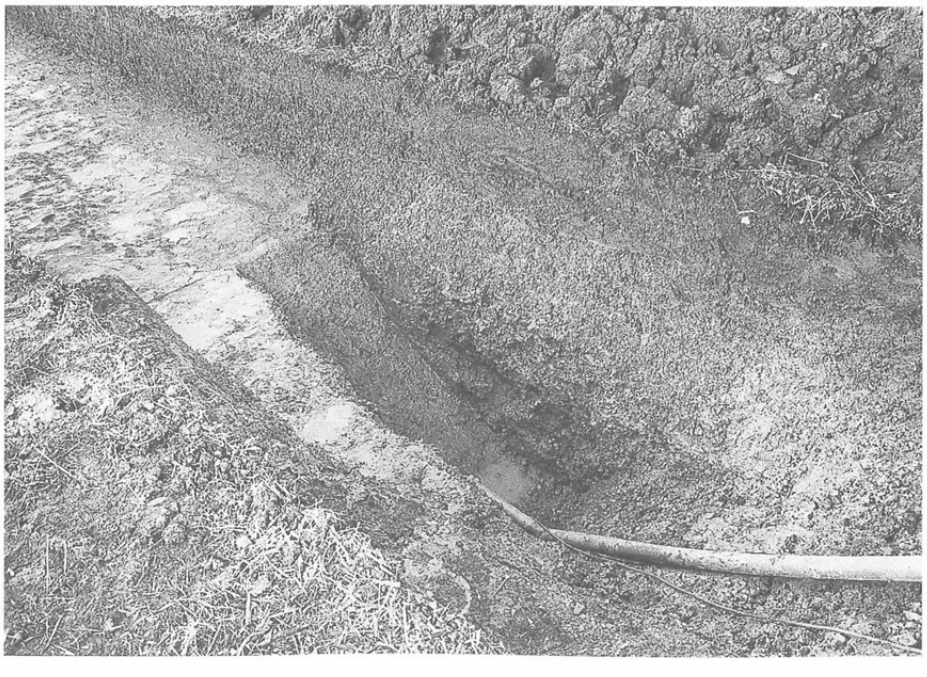
2　和田茶臼山古墳と
両宮山古墳内濠・中堤
（南から）

3　トレンチ23
外濠（東から）



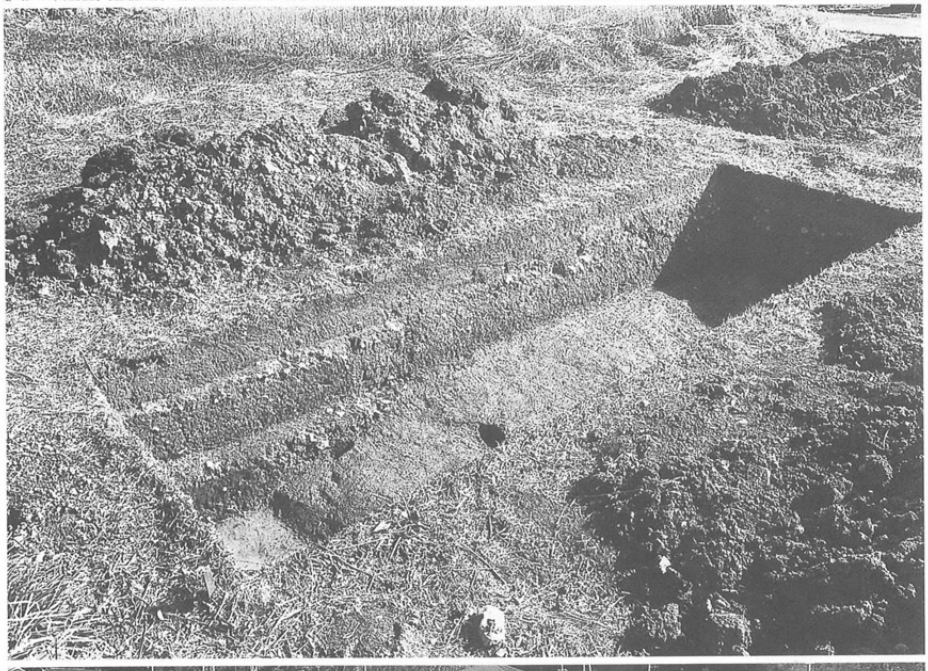
1　トレンチ3
内濠（東から）

2　トレンチ4
内濠（南東から）

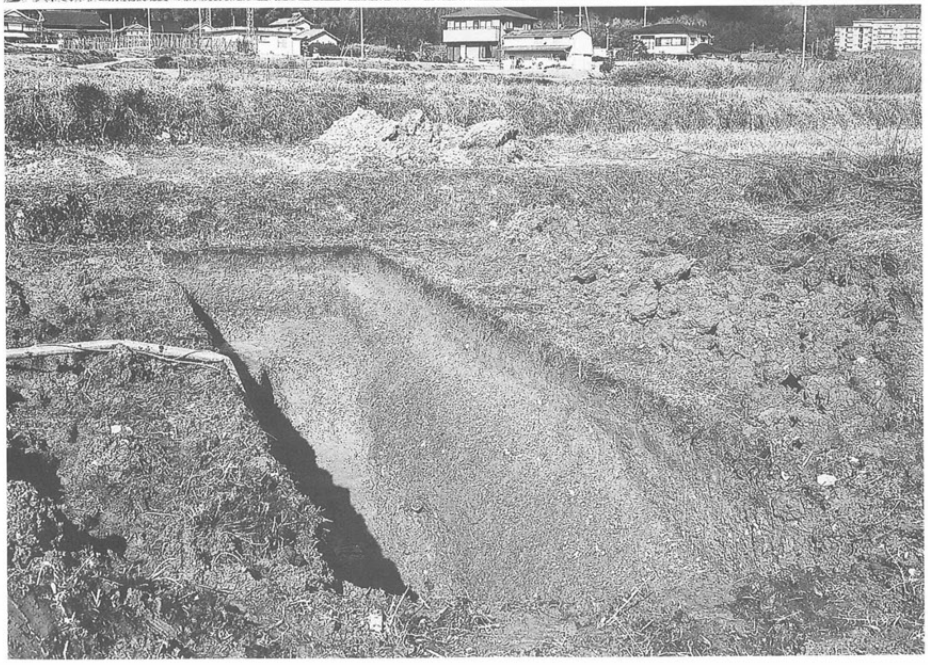


3　トレンチ13
内濠（南から）

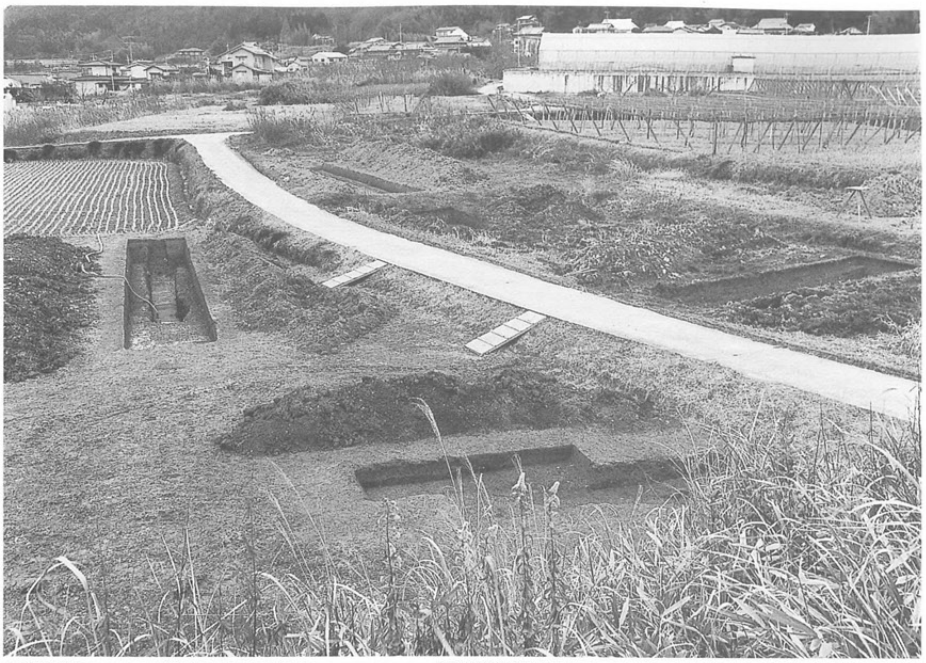
1　トレンチ22
外濠（西から）



2　トレンチ14
中堤・外濠（西から）



3　トレンチ15
内濠（南から）



1　和田茶臼山古墳西側の
トレンチ　　（東から）

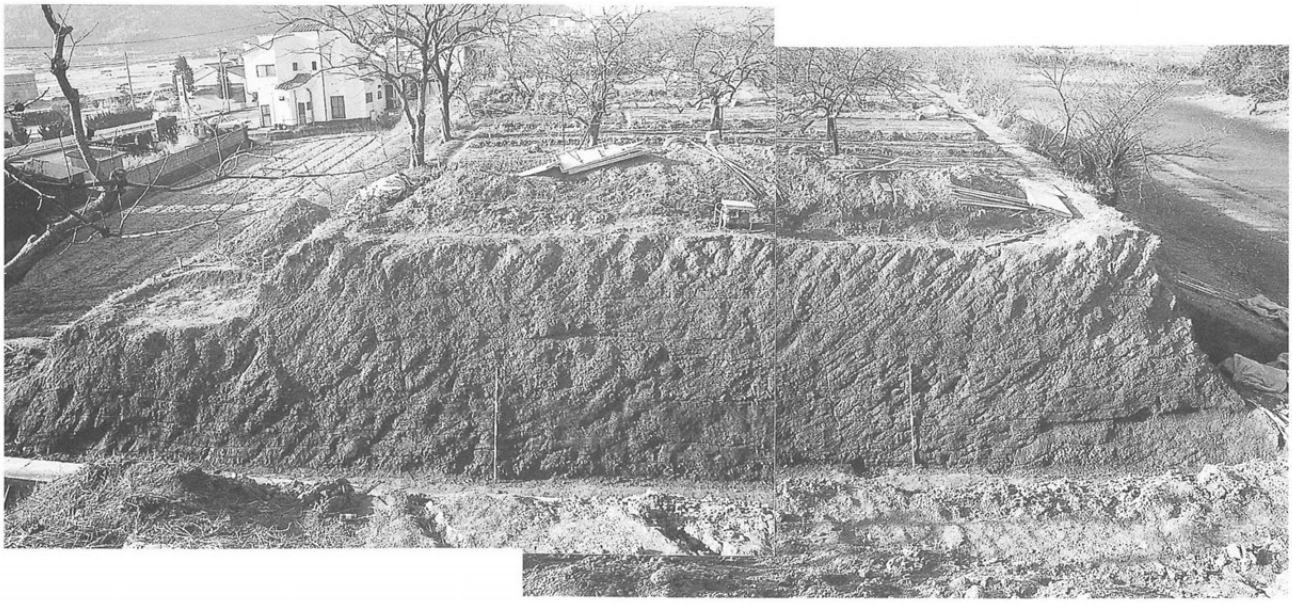
2　トレンチ16
内濠（南から）

3　トレンチ17
外濠（南から）

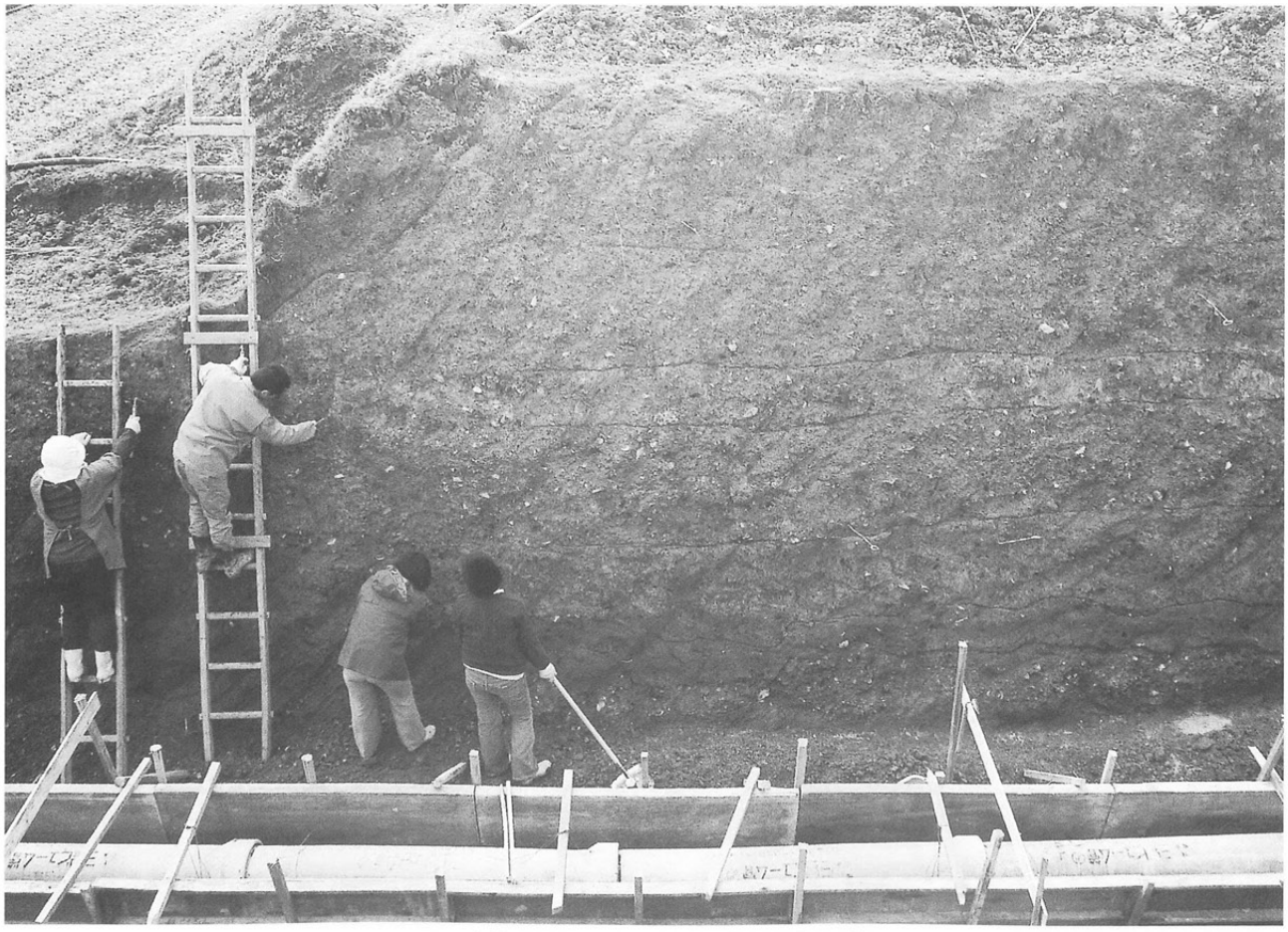
1　トレンチ21
北西くびれ部検出状態
（北西から）

2　トレンチ21
北西くびれ部
（南東から）

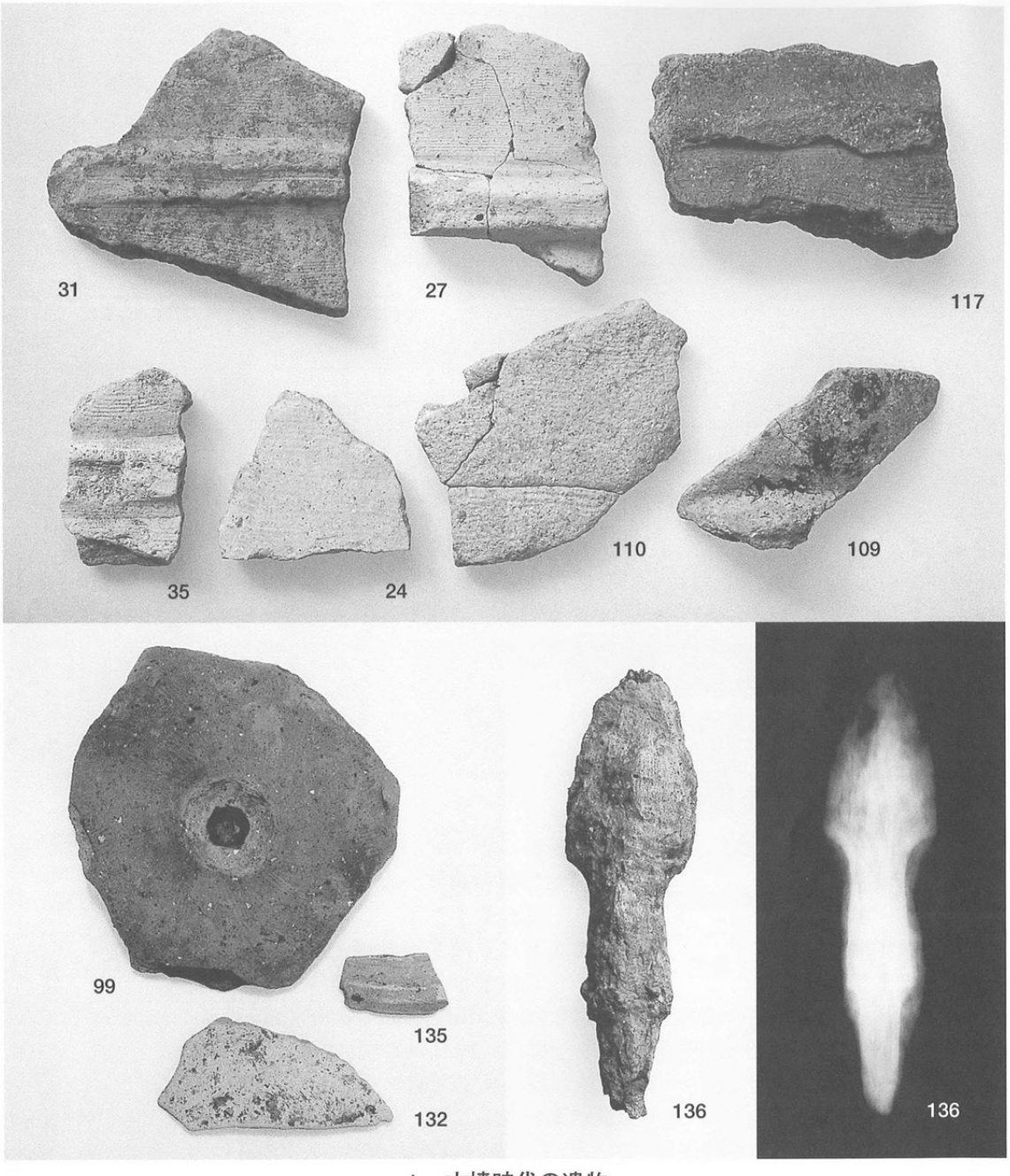
3　トレンチ26
南東くびれ部（南から）



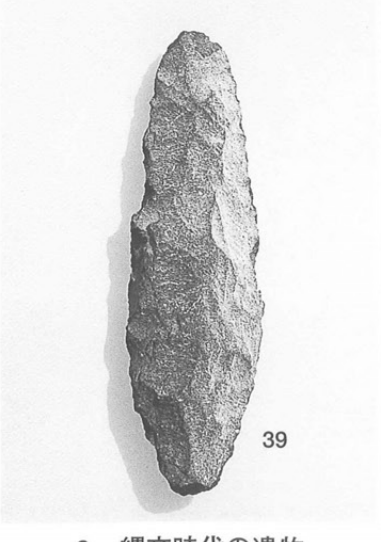
1　中堤断面　1980年樋門部分の調査



2　中堤断面　1980年樋門部分の調査

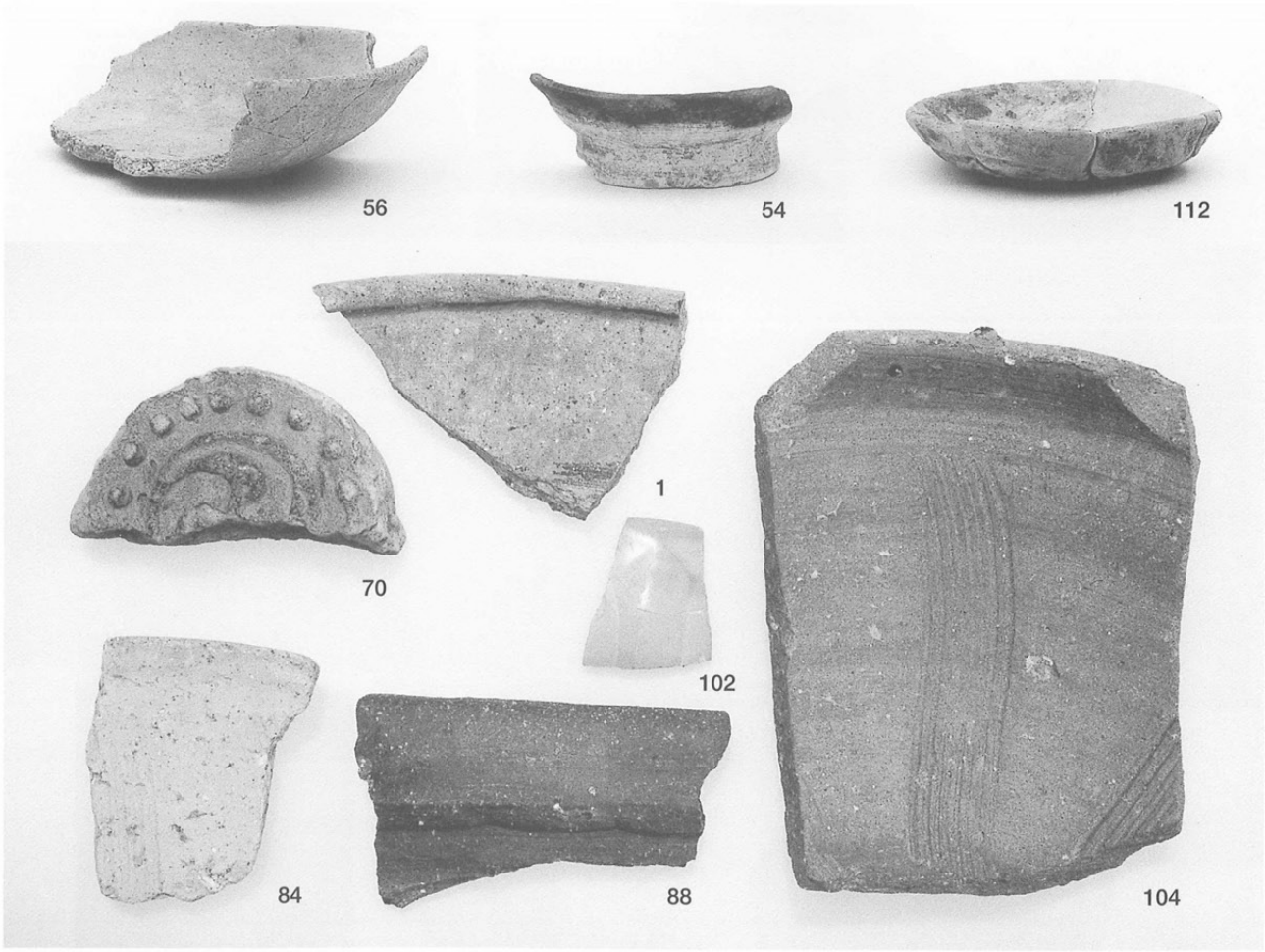


1　古墳時代の遺物



2　縄文時代の遺物

3　トレンチ28出土鉄滓



1　中世の遺物

2　墳丘下採集の弥生土器

ふりがな	りょうぐうざんこふん
書名	両宮山古墳
副書名	
巻次	
シリーズ名	赤磐市文化財調査報告
シリーズ番号	1
編著者名	宇垣匡雅
編集・発行機関	赤磐市教育委員会
所在地	〒709－0816　岡山県赤磐市下市337　TEL 0869－55－0710
発行年月日	2005年9月30日

ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
りょうぐうざん 両宮山古墳	おかやまけん 岡山県 あかいわし 赤磐市 ほさき 穂崎790他	33322	231	34° 44′ 24″	134° 00′ 08″	20030129 ～ 20030324 20040115 ～ 20040310	240 306	保存資料収集。古墳外域施設の内容および範囲の確認。
わだちゃうすやま 和田茶臼山古墳	岡山県 赤磐市 和田123他		219	34° 44′ 29″	134° 00′ 06″	20050111 ～ 20050316	310	

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
両宮山古墳	古墳	古墳時代 中期	前方後円墳・ 2重周濠	備前焼ほか	2重周濠を伴う巨大古墳
和田茶臼山古墳	古墳	古墳時代 中期	帆立貝形古墳・ 2重周濠	鉄鏃1	2重周濠を伴う帆立貝形古墳

要約

両宮山古墳は畿内以西で最大の墳丘規模をもつ中期後半の巨大古墳である。現状で墳丘全長194mを測るが、本来の全長は206mに達すると推定される。調査によって周囲に2重の周濠が設けられており、総長は348mに達することが明らかになった。内外の濠の間に設けられた中堤は大規模で、盛土の厚さは最大2.6mを測る。こうした巨大古墳でありながら、葺石・埴輪は伴っていない。

両宮山古墳の後円部北側に所在する和田茶臼山古墳は全長54mの帆立貝形古墳であることが明らかになった。周囲には主墳と同様に2重の周濠をめぐらせ総長99mを測ること、葺石・埴輪を伴わないことも判明した。

巨大古墳と、随伴する中規模古墳について重要な資料を得ることができた。

赤磐市文化財調査報告　第１集

両宮山古墳

平成17年９月28日　印刷
平成17年９月30日　発行

編集・発行　岡山県赤磐市教育委員会
岡山県赤磐市下市337

印　刷　西尾総合印刷株式会社
岡山市津高651